

公益社団法人 福岡県理学療法士会

平成 30 年度 第 1 回理事会議事録

日 時：平成 30 年 4 月 28 日（土）15：00～17：40

場 所：麻生リハビリテーション大学校

出席者：(理事) 西浦、永友、近藤、諫武、廣滋、音地、宇戸、高橋、久保田、久原、熊谷、

松崎、時吉、今村、岩佐、山内、遠藤、福田

(欠席) 永野、佐藤

(監事) 森田、日野

(事務員) 中山、長田、野中

(書記) 平原、野中

議長は、西浦会長がつとめ、永友副会長、近藤事務局長とともに議事録に署名することを確認した。

【審議事項】

【会長】(西浦会長)

1. 平成 29 年度事業報告について (別紙：01)

諫武理事より説明。

→承認

2. 平成 29 年度決算について (別紙：02～09)

諫武理事より説明。

松崎地域包括ケア推進局長：地域包括の助成金 400 万円については予算立てに入らず、ただ支出するだけなのか。予想になってしまい、予算をたてづらい。

諫武理事：宮田税理士と今後検討していく。

→承認

3. 平成 30 年度代議員総会について (別紙：10～14)

諫武理事：麻生リハビリテーション大学校の講堂が使用できなくなり、教室へ変更になるかもしれない。

来賓として医療指導課の大群課長が来られる。県議会議員については打診中。議長は福岡青洲会病院の嶋邨氏、書記は総務部の加藤部長と池田部長が務める。議事録署名人として、桜十字福岡病院の川崎氏、久保田氏に願います。今年度代議員へは、委任状以外に意見や質問事項について事前にメールで提出いただくようアナウンスする。締切は6月5日とする。また、昨年の総会の際に出た代議員からの質問事項に対しては各部局確認をお願いします。

平原部長：5月7日に総会資料を完成予定とし、10～11日を目途に事務所に依頼して製本作業へ。5月

25日には代議員の手元に届く予定としたい。

諫武理事：質問事前受付に対するご意見を頂きたい。

近藤事務局長：総会をスムーズに運営するための手段である。質問を大枠として把握した上で、議長進行のもと執行部が質問に対して回答することで時間短縮にもつながる。

久原理事：事前に質問を把握しておくのは一般的なやり方なのか。

西浦会長：日本理学療法士協会も同様である。質問に対して我々が回答を準備するということもあるが、質問に対してなるべくわかりやすく説明するための準備でもある。

近藤事務局長：議長の進行のもと、まずは執行部が事前質問に対して回答する。

山内理事：時間を超えては質問を受け付けないということか。

近藤事務局長：総務部でタイムキープを行い調整する。

岩佐支部局長：事前質問した議員が当日欠席の場合はどうするのか。

永友副会長：それについても回答は行う。

遠藤理事：事前質問について、理事が先に把握しておくことは可能か。

近藤事務局長：理想はそうであるが、間に合うかは難しい。

宇戸理事：事前質問に対する回答書を先に作成するのは困難か。それを配布し、その上で質問ある方を聞いたほうがすっきりするのではないか。

近藤事務局長：期間的に難しい。

森田監事：日本理学療法士協会でも行っておらず当士会でも難しいのではないかと考える。まずはできる範囲で行い、その反省点を含め次回の検討としていけばよいと考える。

諫武理事：事前質問の締切を6月3日とし、4日に事務所でカテゴリ分けを行い、5日に配信できるよう調整する。

→承認

4. 理事定数変更について（組織検討委員会から再答申）（別紙：15）

永友副会長：昨年度総会時の組織改変に伴って、理事定数も含め増大しようとしたが代議員総会にて否決された。そのため、理事が兼務するという状況が発生して1年経過した。やはり理事の兼務はふさわしくなく、一部の理事がかなり疲弊しているという報告もある。できるだけその様な状況を作らないということで、やはり理事の定数を見直すことが必要である。それから役員についても現在副会長1名であるが、3名以内で答申し、その定数に関しては会長に委ねる。理事については今後複数必要な部署もあるということで23名以上25名以内が妥当ではないかと答申した。

西浦会長：会長業務を3年兼務してきたが、当士会も含めた様々な団体が現代社会へどう対応していくか、また政治的取り組みにおいて連盟と連携を行っていくなど様々な対応が求められている。まずは新生涯学習システム関連が日本理学療法士協会からおりてきている。学術局、研修部で対応していただくが、支部局との絡みもある。管理者研修会については、総務部で対応していただくが、こちらも支部局との連携が必要である。そして、そのような事業が適正に機能しているかどうか第三者的にみていく必要がある。その様な対応を副会長に担って頂き支部局との連携を図りマネジメントを行って頂きたい。政策活動については毎年選挙があるわけ

ではなく、人脈が非常に必要となる。連盟だけではなく県士会と一体となり、対応していく必要がある。来年度は、県議会選挙や参議院選挙がある。そこでのラウンドや県の行政政策パーティの依頼も来ているが出席出来ていない状況である。それらに可能な限り三役へ参加していただきたいと考える。そして代議員総会の運営状況も含めて、支部地区との連携強化にも副会長にも参加していただきたい。また、九州ブロック事業についても副会長に参加していただきたい。生涯関連としても県とのパイプ強化が必要であり、産業、学校保健に関しても県から依頼が来る予定である。それに関しても県との窓口となり様々なことに幅広く対応し、各部局間の調整を行い連携強化ができるのではないかと考える。式典などへの参加要請もかなり多く、三役も全てに参加出来ていない状況であり、副会長の増加により対応できるが増えると考え。

山内理事：現状では永友副会長が半分くらい出務しているのか。

西浦会長：団体の役員、JRAT等も兼務している。半分弱くらいは関わっている。

山内理事：今後の野中氏が窓口になると思うがどうか。

西浦会長：野中氏は一緒に同行するし、三役が無理な場合に出務いただくこともある。しかし、基本的には三役が出務した方が良い場合もあり状況によると考える。事務的業務については問題ないが、行政からの依頼等については窓口を副会長と一本化したい。

松崎地域包括ケア推進局長：地域ケア担当者の勉強会の際に専門職を呼んだがアドバイス等もらえないなどの意見も出ており出務していただく側も慎重に選別する必要がある。

今村理事：その点については理解できるし、特定の理事に業務が集中している傾向も理解できるが、理事がケア会議や認定審査会などの実務を担っていることも多忙になる原因と考える。これら実務から理事が退き、仕組み作りや教育などの本来業務に専念することも重要。そのためにも多くの会員が参加する仕組みや教育が必要。

西浦会長：その点については今後の検討していく。

永友副会長：今回の答申を再度検討した際、会長の意向としては副会長の増員である。副会長の役割分担や会長の説明を合わせながら総会で代議員に説明を行う。

熊谷理事：会長が出務出来なかった事業等は何件くらいあったかがわかれば議論がしやすい。

西浦会長：過去の資料より調べることはできるが大変な作業である。それよりもこれから起こりうることについて準備したい。予測に対してと非難もあるかと思うが、その様な時に準備・対応出来なければ県士会の発展を衰えさせると危惧している。

永友副会長：様々な国会議員、県会議員の勉強会等の案内が届くが、現在の三役だけでは対応できない。九州ブロック会議など多くの事業に対して出務が難しい場合は、代理での出務依頼など様々な調整を行って対応している現実がある。その様な状況があり挙げていくのは難しい。

遠藤理事：数値として出しにくいのも理解できるが、具体的な数値を提示し説明した方が代議員に伝わりやすいのではないかと。

森田監事：日本理学療法士協会理事の報告と同様に記録に残して行く方がよい。実績を残すことや、兼務との調整という意味で重要である。また、代議員に理解を得る上で報告が大事である。

永友副会長：現在、病院業務を休んで出務している現状を理解していただきたい。

山内理事：理事会資料の報告事項をまとめればよいのではないかと。

近藤事務局長：それらを具体的にして別紙資料として示すことが出来れば良いと考える。

宇戸理事：「これだけ多忙であるから増員したい」「将来的にこの様に変えていきたい」と両方伝えるべきである。数値的に大変であるといっても各々で大変という捉え方は変わる為難しい。将来的に考えている県士会組織図を提示する事も必要であると考え。

西浦会長：議論した内容を代議員総会資料へしっかり反映し提示していく。

→承認

【法人事業】

【監事】（森田監事）

森田監事より監事監査について説明された。

森田監事：4月21日に監事監査を行った。平成29年度は適切に実施され、事業報告も法人の状況を正しく示している。理事の不正はない。事業報告書の記載日時の誤りを認めたため、注意を行った。予算執行に関しても適正に示している。平成29年度除籍者105名に加え、会費未納者165名であり、未納解消に向けて早急な対策を講じるよう指導した。平成30年度以降、会費徴収制度が変更されているため、会員への更なる周知を図り、組織率の維持・向上に努めていただきたい。

→承認

【事務局】

【法人事業】

[総務部]

1. 平成29年度決算・平成30年度予算総会について（別紙：10～14）

平成29年度決算・平成30年度予算総会について別紙の通り計画しているので承認を頂きたい。

会長審議事項を参照。

→承認。

2. 平成29年度事業報告について（別紙：01）

会長審議事項を参照。

→承認。

[財務部]

1. 平成29年度決算報告について

1) ①H29年度決算については、決算書類参照。（別紙：02～09）

平成29年度決算において、①収支相償（△4,844,609円）、公益事業比率(71.08%)、遊休財産の保有制限クリアとなり、公益法人としての条件は、クリア。

（別紙：貸借対照表、正味財産増減計算書内訳表（別紙：24）

財務諸表に対する注記（別紙：25）

付属明細書（別紙：26）

財産目録（別紙：27）

局・部別予算執行状況表（別紙：28）

別表G：収支予算の事業別区分経理の内訳表（別紙：29）

会長審議事項を参照。

→承認。

[公益社団法人理学療法士会 50 周年記念事業準備委員会]

1. 公益社団法人理学療法士会 50 周年記念事業について

平成 31 年 9 月に開催予定の公益社団法人福岡県理学療法士会 50 周年記念講演・式典・祝賀会企画について別紙の通り企画案を作成したので承認を頂きたい。(別紙：16～28)

西浦会長より 50 周年記念事業準備委員会の委員長を廣滋学術局長に任命したことが報告された。

廣滋学術局長より説明。

廣滋学術局長：開催日は平成 31 年 9 月 7 日に決定した。副実行委員長を 2 名、諫武理事と吉村氏（宗像水光会総合病院）に依頼している。

諫武理事：記念式典の会場はホテル日航とセンターザで考慮しているが、規模から考えるとホテル日航の方がよいのではと考えている。ホテル日航で着席では 346 万円、立食では 236 万円くらいになる。センターザでは 200 万円弱である。現在、50 周年記念特定費用準備金として毎年 150 万円を貯蓄しており、今年で 600 万円となる。800 万円くらいの予算で考えている。内 400 万円をパーティ費用とし、残りを新聞広告や記念誌等に使う予定である。9 月までに式典関係を決定したい。まずは会場の決定をしたい。

廣滋学術局長：会場の使いやすさや利便性を考えてもホテル日航が適していると考えます。

近藤事務局長：費用的な面はあるが、50 周年記念事業ということもありホテル日航がよいと考える。

西浦会長：会場はホテル日航とし、着席形式でよいか。

→承認

【学術局】

【公益事業 1 理学療法士の知識及び技術の向上を図る事業】

[学術局]

1. 新人研修会の講師謝金について

新人研修会（テーマ：A1-5）は会員との顔合わせの意図もあり理事が講師を担当し、講義内容は一定水準を保つために協会スライドを使用している。このため、新人オリエンテーションの対応と同様に、講師謝金規程を適応せず、講師謝金は廃止してはどうかと考える。

山内理事：地域包括ケアリーダー研修会も協会配布スライドを使用していると思うが、新人研修会だけ適用させるとなると線引きは難しくなるのではないかと考える。

廣滋学術局長：研修会内容や講師の拘束時間、対象が新人ではない等を含めると同等に扱う必要はないと考える。

松崎地域包括ケア推進局長：講師はディスカッションやコーディネートなどを含めると1日対応することになり技量も必要となる。

廣滋学術局長：まずは線引きというよりも新人研修会に対して適用したい。

岩佐支部局長：協会スライドも毎年更新されておらずトピックスなど追加し手は加えている。

西浦会長：予算削減の意味では分かるが、読み込む必要があり責任を持って行っている。

今村理事：業務負担を考え減額としてはどうか。

→継続審議

2. 研修会無断欠席者への注意喚起について

FAX 通信で以下の文面を送りたく内容の確認をお願いしたい。

タイトル：研修会受講申し込み者へのお願い（無断欠席者への注意）

内 容：近年、マイページから事前登録だけをして当日無断欠席される方が目立ちます。

一例では、200名の定員到達後に当日無断欠席者が50名の状況でした。

多数の受講希望者が事前登録や受講ができず、迷惑との苦情も出ております。

このような状況が続けば、無断欠席者リストをもとに施設長への連絡や、悪質な場合、研修会への登録を制限するなどの措置を検討せざるを得ません。

会員相互のより良い生涯学習の場になるようご理解とご協力をお願い致します。

高橋社会局長：定員のため受講できなかった会員もいるため注意喚起をした方がよい。

永友副会長：研修会の前日、当日の連絡先は記載しているのか。

岩佐支部局長：支部では会場には問い合わせしないようにしている。

永友副会長：連絡を入れたかったが連絡できなかった会員もいるのではないか。

今村理事：抑止力と考え、後日事務所に連絡が確認できればよいと考える。

→承認

【社会局】

【公益事業2 理学療法の知識・技術の普及・啓発を行う事業】

[公益事業推進部]

1. 県士会ベスト作成について（別紙：29）

福岡県内の業者2社に見積もり中であり以下の点についてご審議いただきたい。

- 1) 業者選定
- 2) デザイン選定
- 3) クリーニングは不可

業者からは手洗い・洗濯ネットを使用して洗濯機で対応、乾燥機不可との指示対応を検討中
熊谷理事より説明。

西浦会長：再度素材等を含めメールにて各理事へ呼びかけ検討してはどうか。

→審議取り下げ

【その他事業 会員の福利厚生に関する事業】

[職能部]

1. 平成 29 年度減点査定調査について

平成 29 年度減点査定調査ホームページ掲載内容についてご審議いただきたい (別紙：30)

久原理事より説明。

西浦会長：意見等あればメールにて審議。後に、社会局一任とする

→承認

【各委員会】

【選挙管理委員会】

1. 選挙規程の変更について (前回継続審議) (別紙：31、32)

田代委員長：現在 3 名体制で選挙管理委員を回しているが今後 4 名体制にしたい。代議員総会で 4 名体制が可決されれば、2019 年 6 月から 1 名募集をかけて 4 名体制としたい。2020 年 6 月時点では任期が 2 年であるため最初 3 名のうち 2 名が交代し、選挙管理委員長は追加 1 年継続する流れとし毎年 2 名ずつ交代する選挙としたい。

→承認

【報告事項】

【会長】

1. 公益社団法人福岡県介護福祉士会 25 周年記念式典・記念講演・祝賀会

日 時：平成 30 年 3 月 21 日 (水) 13：30～20：30

場 所：ソラリア西鉄ホテル

出務者：松崎

2. 平成 29 年度第 3 回定期各県理学療法士会長会議

日 時：平成 30 年 3 月 24 日 (土) 15：00～17：00

場 所：howffice net 会議室 博多駅前店 D 会議室

出席者：福岡～西浦 健蔵(会長) 近藤 直樹(事務局長)

長崎～塩塚 順(会長) 大山 盛樹(副会長)

熊本～北里 堅二(会長) 坂崎 浩一(副会長)

大分～河野 礼治(会長) 市川 泰朗(事務局長)

佐賀～片渕 宏輔(会長) 峰松 一茂(副会長)

宮崎～中田 洋輔(会長) 高月 航(事務局長)

沖縄～城間 定治(事務局長) 村井 直人(理事)

鹿児島～梅本 昭英(会長) 平名 章二(副会長)

監事～白石 浩

事務局～赤崎 昭朗

議 案：

【平成 29 年度事業報告及び決算報告】

①九州理学療法士・作業療法士合同学会 2017in 宮崎終了報告（宮崎）

②九州ブロック学術教育担当者連絡会議（長崎）

③九州地区管理・運営研修会（鹿児島）

④平成 29 年度決算報告（事務局）

【平成 30 年度事業計画及び予算案】

①九州理学療法士・作業療法士合同学会 2018in 沖縄進捗状況

②第 1 回九州理学療法士学術大会 in 鹿児島進捗状況（鹿児島）

③第 2 回九州ブロックスポーツ大会進捗状況（熊本）

④九州地区現職者講習会（佐賀）

⑤九州地区管理・運営研修会（大分）

⑥九州ブロック臨床実習指導者研修会及び関係担当者会議（長崎）

⑦九州ブロック学術教育担当者連絡会議（長崎）

⑧九州ブロック政策活動委員会（鹿児島）

⑨九州ブロック事務局長会議（沖縄）

⑩平成 30 年度予算案（事務局）

【審議事項】

①合同学会 40 周年記念式典参加について

②合同学会演題募集と抄録集発送について（長崎）

3. 平成 29 年度 都道府県士会理事育成研修会（士会機能強化推進執行委員）

日 時：平成 30 年 2 月 24 日（土）13：00 ～17：00、25 日（日）9：00 ～16：00

場 所：TKP 東京駅日本橋カンファレンスセンター

内 容：士会組織運営、組織マネジメント等に関する講義とワークショップ

出務者：西浦

4. 朝倉市長候補者林祐二事務所訪問

日 時：平成 30 年 4 月 6 日（金）12：10 ～12：30

場 所：林祐二事務所

内 容：推薦状交付

出務者：西浦

5. 平成 30 年度拡大組織運営協議会

日 時：平成 30 年 4 月 7 日（土）14：00 ～17：30、8 日（日）10：00 ～16：00

場 所：TKP 赤坂駅カンファレンスセンター

内 容：協会理事会聴講、診療報酬改定に関する研修、会館建設・生涯学習制度等

出務者：西浦、永友、廣滋

→西浦会長より説明された

【副会長】

1. 一般社団法人リハビリテーション教育評価機構評価認定委員会評価員（PT 班）の任期延長について

任期：平成30年4月1日～平成32年3月31日

【事務局長】

1. 平成29年度 都道府県士会理事育成研修会

日 時：平成30年2月24日（土）13：00～17：00、25日（日）9：00～16：00

場 所：TKP 東京駅日本橋カンファレンスセンター

内 容：士会組織運営、組織マネジメント等に関する講義とワークショップ

出務者：近藤、諫武

2. 内部監査

日 時：平成30年4月21日（土）15：00～17：15

場 所：本会事務所

内 容：平成29年度事業および平成29年度決算に関する監査

出務者：日野、森田、近藤、諫武、中山、長田、野中

3. 後援名義一覧（別紙：33）

【倫理委員会】

1. 日本理学療法士協会懲戒処分について（別紙：34）

【事務局】

【法人事業】

I. 事業

[総務部]

1. 福岡 JRAT ミーティング

日 時：平成30年2月1日（木）19：00～20：00

場 所：麻生リハビリテーション大学校

出務者：永友、平原

2. 公益法人インフォメーション平成30年度事業計画書等の提出作業実施

日 時：平成30年3月27日（火）19：00～20：00

場 所：県士会事務所

出務者：諫武、平原、中山、長田、野中

[災害対策部]

1. 第2回福岡県災害時福祉等専門人材派遣団体連絡会議

日 時：平成30年2月8日（木）10：00～12：00

場 所：吉塚合同庁舎8階

出務者：平原、池永

[財務部]

1. 会議・会費相談窓口

日 時：平成 30 年 2 月 4 日（日）9：00～16：30

場 所：福岡国際会議場

出務者：諫武、上川、太田

II. 関係会議

[総務部]

1. 総務部会議

日 時：平成 30 年 2 月 4 日（日）13：00～14：00

場 所：福岡国際会議場

出務者：諫武、平原、加藤、池田、池永

[財務部]

1. 財務部会議

日 時：平成 30 年 2 月 4 日（日）9：00～10：00

場 所：福岡国際会議場

出務者：諫武、上川、松木

【公益事業 1 理学療法士の知識及び技術の向上を図る事業】

I. 事業

[組織部]

1. 第 27 回福岡県理学療法士学会託児業務

日 時：平成 30 年 2 月 4 日（日）8：30～16：16

場 所：福岡国際会議場

内 容：利用児童 8 名

出務者：永野、磯辺、元村、橋本

2. 第 27 回福岡県理学療法士学会書籍展示

日 時：平成 30 年 2 月 4 日（日）9：00～16：30

場 所：福岡国際会議場

内 容：書籍展示

出務者：永野、磯辺、元村、橋本

3. 第 3 回北九州支部研修会託児業務

日 時：平成 30 年 2 月 18 日（日）8：15～16：40

場 所：製鉄記念八幡病院

内 容：利用児童 1 名

出務者：磯辺、元村

II. 関係会議

[組織部]

1. 第4回組織部会議

日 時：平成30年2月4日（日）16：30～17：00

場 所：福岡国際会議場

内 容：託児について

出務者：永野、磯辺、元村、橋本

【公益事業2 理学療法の知識・技術の普及・啓発を行う事業】

I. 事業

[組織部]

1. ホームページの適宜更新について

総アクセス数	アクセス人数
--------	--------

3月 305,507件	11,962人
-------------	---------

上位アクセス数ページ

研修会一覧ページ

お知らせページ

2. ホームページリニューアル

平成30年4月1日（日）ホームページリニューアル

- ・ホームページ業者（堀井製作所）と保守業務委託契約書締結。

- ・メルマガ配信終了に伴うアプリの構築

（App Store 審査に時間を要している状況。5月連休明け配信予定。）

- ・CMS機能導入

北九州支部・福岡支部・筑後支部・地域包括ケア推進局・WLB部のページを作成。

ページ単独のID・Passをいつでも発行できる状況である。

今後、各部局と打ち合わせを進める。

- ・会員ページのログイン方法について

以前のホームページで可能であった会員独自のログインID・Pass発行を終了し、統一（FAX通信掲載中）のID・Passに移行する（案内をHPに掲載）。

（理由）

- ・会員独自のID・Passで管理する会員個別のページではない

- ・会員独自のID・Passを会員は忘れた場合、再発行業務の手間が大きい

- ・会員独自のID・Passで管理するためのHPシステム構築費用（約130,000円～約200,000円）の必要がある。システム構築により会員がログインしやすいというだけの利点はあるが、費用対効果が低い。

- ・会員独自のID・Passを持っているのは会員の5%程度（見込み）であり、会員の多くは統一のID・Passでログインしていることが伺える。

3. 広報誌の発行

- ・発行部数：10,000部（平成30年2月号）

- ・発行先：福岡県士会会員、福岡県内理学療法士養成校、福岡県内地域包括支援センター
- ・広報誌デザイン・校正をリニューアル

4. 就業環境についてのアンケート

メンタルヘルスに係る就業環境についてのアンケートを、準備の進捗によるが平成30年度実施予定とする。

アンケート結果をもとに社会局や職能部と連携し、福岡県内理学療法士の就業環境の整備に向けた政策の立案のための基礎資料とする。

また、関連学会にて公表する。

【学術局】

【公益事業1 理学療法士の知識及び技術の向上を図る事業】

I. 事業

[学会部]

1. 第27回福岡県理学療法士学会開催報告

日 時：平成30年2月4日（日）10：00～16：20

会 場：福岡国際会議場

テーマ：「未来に繋ぐ一求められる理学療法のカタチー」

学会長：江郷 功起 氏（大牟田市立病院）

内 容：開会式

特別講演：藤縄 理 氏（埼玉県立大学）

教育講演：井垣 誠 氏（公立豊岡病院日高医療センター）

一般演題発表：53題（セレクション口述発表4題、一般口述発表24題、ポスター発表25題）

参加者：446名（会員426名、県外会員14名、学生4名、看護師2名）

2. 一般演題発表の表彰

優秀賞：製鉄記念八幡病院 山内 康太 氏

テーマ：「脳卒中患者における急性期病院退院時歩行能力が肺炎および生命予後に及ぼす影響」

奨励賞：JCHO九州病院 和田あゆみ 氏

テーマ：「高齢女性における大腿骨近位部骨折術後の退院時歩行自立に影響を及ぼす因子の検討」

※学会の閉会式において、学会長から受賞者に賞状および目録を贈り、表彰式を行った。理学療法福岡への投稿依頼を行う。

3. 学会長公募制度について（学会長公募制を追加する）

【選定条件】

- ①福岡県理学療法士会会員であり、在籍期間5年以上であること。
- ②日本理学療法士協会会員であり、在籍期間10年以上であること。
- ③専門理学療法士または認定理学療法士であること。

今後のスケジュール：5月のFAX通信とHPで会員に案内。

公募時期は6月1日～7月31日を予定。

8～9月の学術局会議で選考・決定。

10月理事会で報告予定。

手続き：HP上で会員自身が学会長立候補届（下記参照）をダウンロードし、必要事項を記入の上メールにて県士会事務所宛に応募。

従来どおりの支部推薦（今年度は福岡支部）も継続し、支部推薦と公募の2つの方法で学会長候補者を学会部で集約し、学術局会議で選考する形式とする。

第28回福岡県理学療法士学会 学会長立候補届

氏名				顔写真
年齢				
会員番号				
所属施設				
所属支部		支部		
福岡県理学療法士会員歴		年		
日本理学療法士協会会員歴		年		
認定・専門資格		理学療法士	分野	
認定・専門資格（複数取得している場合）		理学療法士	分野	
上記以外の取得資格・学位				
学会発表・論文執筆歴 * 直近5年以内 * 「学会名」「発表演題タイトル」 * 「雑誌名」「タイトル」				
協会活動歴 社会活動歴				
立候補の動機（400字程度）				

4. 表彰演題の名称変更・追加について

一般セクション4演題から「最優秀賞」1題、「優秀賞」3題とする。

若手の奨励賞は、若手セクション4演題から「奨励賞」1題を設定する。

ポスター発表の表彰：ベストポスター賞を新設する。今後、選考方法の詳細を提示。

[学術誌編集部]

1. 理学療法福岡 31 号進捗状況

1) 巻頭言：近藤 直樹 氏（事務局長）

2) 特集テーマ：がんのリハビリテーション

入江 将考 氏：肺癌患者における術前・術後呼吸リハビリテーション

米永 悠佑 氏：がんリハビリテーションの評価

三原 絵美 氏：在宅におけるがんのリハビリテーション

林 邦男 氏：終末期がん患者の理学療法

3) 講演録：熊谷 秋三 先生（九州大学大学院 教授）

4) 助成研究報告：吉塚 久記 氏（専門学校柳川リハビリテーション学院）

標 題：臨床実習における理学療法技術の主観的困難感

-臨床教育者と学生の認識に着目して-

5) 奨励賞：永松 邦夫 氏（久恒病院）

標 題：プロ野球新人投手とプロ経験 5 年以上の投手における肩関節機能および肩理学所見の比較検討

6) 一般投稿論文

(原著)・生野 正芳 氏（医療法人 原鶴温泉病院）

標 題：訪問リハビリテーションに対する認知度の実情と課題-福岡県うきは市における介護支援専門員へのアンケート調査-

・今村 純平 氏（久留米リハビリテーション病院）

標 題：模擬症例を用いた脳卒中理学療法介入の内容の差異に関する検討

・長野 毅 氏（専門学校柳川リハビリテーション学院）

標 題：脳卒中片麻痺患者の歩行自立度別による起居動作自立度及び動作遂行時運動機能の差の検証

(短報)・森 聡 氏

標 題：キセノン光の星状神経節近傍照射が自律神経活動動態および末梢血管機能に及ぼす影響

・日野 真 氏（医療介護施設かめやま 通所リハビリテーション）

標 題：高齢リハビリ患者に対する理学療法士による身体活動及び ADL 評価と、栄養状態の関係性についての検討

・横山 一仁 氏（福岡リハ整形外科クリニック）

標 題：重度内側型変形性膝関節症患者の歩行時下腿側方動揺に影響を与える因子

・本多 裕一 氏（専門学校柳川リハビリテーション学院）

標 題：虚弱高齢者の踵床間距離測定と動的バランスならびに転倒との関係
-転倒スクリーニングテストの考案-

(症例報告)・鐵見 竜司 氏（済生会八幡総合病院）

標 題：歩行練習後に低血圧症をきたした大腿骨頸部骨折術後症例
-血圧低下の考察と今後の対策-

7) 編集後記：佐藤 憲明 氏（学術誌編集部担当理事）

2. 理学療法福岡の執筆規定の変更 (別紙：35)

[学術研修部]

1. 第101回福岡県理学療法士会学術研修大会 スケジュールについて

日 時：平成30年8月19日（日）9：40～15：30（8：30～受付）

場 所：アクロス福岡 4階、国際会議場 7階大会議室

第101回 福岡県理学療法士会学術研修大会 日程表

	国際会議場：4階	大会議室：7階
9:00 ～ 9:50	受 付	
10:00	開 会 式 開会の挨拶（永友副会長） 会長挨拶（西浦会長） 来賓挨拶	X
10:30	会場移動、予備時間	会場移動、予備時間
10:40	学術研修大会記念講演 テーマ：「」 講 師： 先生	市民公開講座 テーマ：「」 講 師 先生
11:40	移動・休憩・軽食	移動・休憩・軽食
12:00	特別講演Ⅰ（神経系領域） テーマ：「」 講 師： 先生	特別講演Ⅱ（地域・予防領域） テーマ：「」 講 師： 先生
13:30	移動・休憩・軽食	移動・休憩・軽食
13:50	特別講演Ⅲ（運動器領域） テーマ：「」 講 師： 先生	特別講演Ⅳ（内部障害系領域） テーマ：「」 講 師 先生
15:20 ～ 15:30	閉 会 式	

・特別講演Ⅱ（地域、予防領域）内諾

テーマ：「地域の中での様々な連携の取り組みと課題について考える」（仮題）

講 師：竹村 仁 氏（臼杵市医師会立コスモス病院リハビリテーション部）

・特別講演Ⅲ（神経領域）内諾

テーマ：「歩行運動の再学習ー歩行運動解釈と再学習の理論的背景ー」（仮題）

講 師：大畑 光司 氏（京都大学大学院医学研究科人間健康科学系 専攻講師）

・特別講演Ⅳ（内部障害）内諾

テーマ：「心腎連関を意識したリスク管理と包括的リハビリテーション」（仮題）

講 師：斉藤 正和 氏（公益財団法人日本心臓血圧研究振興会附属榊原記念病院理学療法科 科長）

・特別講演Ⅰ（運動器領域）：講師依頼継続中

第1、2候補は辞退。

（追加）運動器領域の講師は未定で再検討する。

・特別講演および市民公開講座 継続依頼中

[教育研修部]

1. 平成 29 年度 臨床理学療法研修会

日 時：平成 30 年 2 月 17 日（土）16：00～17：45

場 所：麻生リハビリテーション大学校

講 演 I（16：00～16：45）

テーマ：「理学療法の臨床・教育・研究の未来を切り拓くために」

講 師：田中 昌史 氏（公益社団法人 日本理学療法士協会理事）

講 演 II（16：45～17：45）

テーマ：「診療介護報酬同時改定最新情報とこれからの理学療法士が歩むべき道」

講 師：半田 一登 氏（公益社団法人 日本理学療法士協会会長）

参加者：事前申し込み：151 名 参加者：135 名（欠席：16 名）

当日参加：12 名

参加者合計：147 名

出務者：河上、脇坂、嶋邨、岡、岡本、宇戸

2. 単位認定の手引きについて

新生涯学習システムへ平成 33 年 4 月より移行となり、平成 30 年（平成 29 年度）3 月卒業生まで認定試験の受験資格を得ることが可能。新生涯学習システムの概要と認定試験受験資格取得に向けてのスケジュールを追記。

II. 関係会議

[学術局]

1. 第 5 回学術局会議

日 時：平成 30 年 3 月 23 日（金）19：00～21：40

場 所：麻生リハビリテーション大学校

出務者：廣滋、音地、佐藤、宇戸、兵頭、久保田、綾部

[学会部]

1. 福岡県理学療法士学会前日打ち合わせ・講師顔合わせ

日 時：平成 30 年 2 月 3 日（土）18：30～21：00

場 所：博多グリーンホテル天神

出務者：江郷大会長、井垣誠氏、藤縄理氏、西浦、永友、近藤、廣滋、池永、原山
才会長他 3 名、音地、富澤、林田、丹生、吉田、山口

[学術誌編纂部]

1. 第 3 回学術誌編纂部会議

日 時：平成 30 年 2 月 2 日（月）19：00～21：30

場 所：麻生リハビリテーション大学校

内 容：理学療法福岡 31 号進捗状況確認、32 号内容意見交換

出務者：佐藤、宮崎、上瀧、梅野、明治、末松、伊藤

【社会局】

【公益事業1 理学療法士の知識及び技術の向上を図る事業】

I. 事業

[職能部]

1. 平成29年度福岡県訪問リハビリテーション実務者研修会

日 時：平成30年2月24日（土）～25日（日）1日目14：00～17：30、2日目10：00～16：45

場 所：小倉リハビリテーション学院

(1日目)

基調講演14：15～15：45

テーマ：「生活期リハにおける地域資源の活用」

講 師：安本 勝博 先生（津山市役所健康増進課 主査・作業療法士）

司 会：福田 裕樹 先生（新やなぎ健診クリニック 事務長・作業療法士）

シンポジウム16：00～17：30

テーマ：「地域資源としてのリハ専門職の役割を考える」

講 師：中島 貴史 氏（福岡青洲会病院通所リハビリテーションセンターRink・理学療法士）

講 師：平緒 綾 先生（田川市地域包括支援センター・保健師）

講 師：安本 勝博 先生（津山市役所健康増進課 主幹・作業療法士）

司 会：竹下 真大 氏（リハビリ訪問看護ステーション すばる・理学療法士）

(2日目)

講演10：00～11：30

テーマ：「同職種連携に関して（仮）」

講 師：小泉 幸毅 先生（小倉リハビリテーション病院リハビリテーション部長理学療法士）

司 会：吉永 明史 先生（福岡国際医療福祉学院・言語聴覚士）

シンポジウム12：30～14：30

テーマ：「同職種連携に向けた提言」

講 師：緒方 友登 氏（産業医科大学病院）

講 師：力石真梨子 先生（あやめ訪問看護ステーション・言語聴覚士）

講 師：綱脇 昇平 氏（（株）シダーあおぞらの里古賀訪問看護ステーション・理学療法士）

司 会：反田 治 先生（特別養護老人ホームひまわり理事総括マネージャー・作業療法士）

グループワーク14：40～16：40

テーマ：「同職種連携を促進するには」

司 会：畠山 崇文 氏

参加者：1日目60名、2日目55名

出務者：永友、麻生、久原、畠山、藤本、吉村（直）、吉村（美）、竹下

2. 学校保健等教育関連理学療法研修会

日 時：平成30年3月6日（火）19：00～21：00

場 所：麻生リハビリテーション大学校
テーマ：「学校保健領域での理学療法士の活動の現状と課題」
講 師：久保田正一 氏（くろだ整形クリニック）
 花岡 亜季 氏（聖マリアヘルスケアセンター）
 高嶋 美和 氏（柳川療育センター）
司 会：緒方 友登 氏（産業医科大学病院）
参加者：34名
出務者：麻生、松崎、吉村（直）、吉村（美）、久原

【公益事業2 理学療法の知識・技術の普及・啓発を行う事業】

I. 事業

[公益事業推進部]

1. 北九州マラソン 2018 救護活動

日 時：平成 30 年 2 月 18 日（日）7：00～16：00

場 所：西日本総合展示場および北九州市内各所

内 容：救護活動

出務者：57名（AED 隊 18名、救護班 39名）

2. 第 10 回食と健康を学ぼう

日 時：平成 30 年 3 月 4 日（日）9：00～12：00

場 所：小倉医師会館

内 容：体力測定会

出務者：17名

利用者：102名

3. 脚から健康 Forum

日 時：平成 30 年 3 月 21 日（水）11：00～16：30

場 所：アクロス福岡

内 容：膝に関する相談

利用者：65名

出務者：井上、櫻井、塩塚、平岡、宮里、森田、高橋、熊谷

4. 7月15日（日）理学療法の日全国一斉イベント

協会 HP に事前案内、活動報告書を掲載予定（今年度は協会からの連絡未）

協会との連絡は社会局が行う 文書記載は支部地区担当者が行う

[職能部]

1. 九州朝日放送からの取材対応について

九州朝日放送よりアサデスの番組内での靴のすり減り方に関するコーナーに対する取材依頼（別紙：36）があり、鶴田 崇 氏（南川整形外科病院）を推薦した。

【公益事業3 理学療法の知識・技術を提供する事業】

I. 事業

[公益事業推進部]

1. その他スポーツ障害予防に対する活動全般事業（少年野球）
日 時：平成30年2月11日（日）14：00～16：30
場 所：広川町立下広川小学校
内 容：少年野球選手のための傷害予防教室
利用者：27名
出務者：池田、猪口、川原、木村、隅田、鶴田、村上、久保田
2. 平成29年度障害者スポーツ研修会 第7回 車いすテニスメディカルトレーナー養成研修会④
日 時：平成30年2月23日（金）19：00～21：00
場 所：麻生リハビリテーション大学校
テーマ：「総論・現場のコンディショニング、研修会まとめ、実践形式」
参加者：8名
出務者：中田、吉井、植田、久保田
3. 北九州 OPEN2018
日 時：平成30年3月2日（金）～4日（日）9：00～17：00
場 所：北九州市立穴生ドーム
内 容：選手に対するコンディショニングサービス
参加者：2日52名、3日58名、4日25名
出務者：2日14名、3日11名、4日7名
4. 第16回全国デフバスケットボール大会
日 時：平成30年3月24日（土）～25日（日）9：00～17：00
場 所：クロスパルこが
内 容：選手に対するコンディショニングサービス
利用者：24日32名、25日50名
出務者：24日7名、25日6名

II. 関係会議

[公益事業推進部]

1. 第34回 飯塚国際車いすテニス大会 第一回 実行委員会会議
日 時：平成30年2月22日（木）18：30～19：30
場 所：九州車いすテニス協会事務局
内 容：飯塚国際車いすテニス大会に関する会議
出務者：植田

【地域包括ケア推進局】

【公益事業1 理学療法士の知識及び技術の向上を図る事業】

I. 事業

1. 研修会報告

[地域包括ケア推進局]

1. 介護予防推進リーダースキルアップ研修会

日 時：平成 30 年 2 月 11 日（日）9：30～16：00（受付 9：00～）

場 所：TKP ガーデンシティ博多新幹線口 4-A

内 容：①講義「地域包括ケアシステムに関する基礎知識」
②講義「住民主体の介護予防について」
③講義「介護予防事業における行政との連携（田川市での実践報告）」
④グループワーク「介護予防施策の立案について」

参加人数：48 名

講 師：松崎 哲治 氏・西村 天利 氏・竹下 真大 氏・平緒 恵 先生・今村 純平 氏

出務者：時吉、高木

【公益事業 3 理学療法の知識・技術を提供する事業】

II. 関係会議

[地域包括ケア推進局]

1. 糸島市来年度事業について打合せ

日 時：平成 30 年 3 月 5 日（月）19：00～21：30

場 所：糸島市役所

内 容：1) 経過報告 H29 年生きがいデイ教室について
2) 協議事項

(1) 平成 29 年度実績報告等について

① 在宅医療・介護連携コーディネーター育成研修会事業

② 在宅医療・介護連携コーディネーターステップアップ研修事業

③ 在宅医療・介護連携コーディネーター活用モデル事業

(2) 平成 30 年度委託事業について

① 地域ケア会議アドバイザー派遣事業

② 訪問型サービス C 事業

③ 在宅医療・介護連携コーディネーターステップアップ研修事業

(3) その他

①H30 年以降の生きがいデイ教室について

②H30 年度新規事業について

出席者：松崎、畠山

2. 糸島市来年度事業について打合せ

日 時：平成 30 年 3 月 16 日（金）19：00～21：00

場 所：渡辺整形外科病院

内 容：糸島市役所と協議した平成 30 年度委託事業についての話し合い

出務者：松崎

【支部局】

福岡2地区運営委員の変更

退任：山口 義輝 氏（博愛会病院）

牟田口 拓 氏（大木整形・リハビリ医院）

就任：中塚 祥太 氏（福岡記念病院）

戸田祐一郎 氏（福岡記念病院）

【公益事業1 理学療法士の知識及び技術の向上を図る事業】

I. 事業

[福岡支部]

1. 第2回福岡支部研修会

日 時：平成30年2月18日（日）13:00～17:00

場 所：桜十字福岡病院

内 容：「脳卒中理学療法におけるシームレス化とその課題」

講 演1：「急性期における脳卒中理学療法に期待すること ～回復期理学療法の立場から～」

講 師：大田 瑞穂 氏（誠愛リハビリテーション病院）

講 演2：「回復期における脳卒中理学療法に期待すること ～生活期理学療法の立場から～」

講 師：高橋 博愛 氏（宗像水光会総合病院）

講 演3：「回復期及び急性期における理学療法に期待すること ～急性期理学療法の立場から～」

講 師：吉村 恵三 氏（九州中央病院）

グループディスカッション：「脳卒中理学療法におけるシームレス化に向けての臨床場面の実際とその課題」

座 長：松崎 哲治 氏（麻生リハビリテーション大学校）

司 会：久保田 勝徳 氏（桜十字福岡病院）

参加者：81名

出務者：川崎、山口、馬場、大畷、遠藤、伊集院、齊藤、久保田

[福岡1地区]

1. 第6回福岡1地区研修会

日 時：平成30年2月14日（水）19:00～21:00

場 所：麻生リハビリテーション大学校

内 容：「症例発表会」

司 会：池田 幸広 氏（福岡リハビリテーション専門学校）

参加者：25名

出務者：有馬、齊藤、江越、寒竹、友清、香月

[福岡2地区]

1. 第5回福岡2地区研修会

日 時：平成 30 年 2 月 8 日（木）19：00～21：00
場 所：福岡市立心身障がい福祉センター7 階
内 容：「症例発表会」
司 会：中島 大輔 氏（福岡市立障がい者基幹相談支援センター）
今井 陽平 氏（博愛会病院）
参加者：17 名
出務者：岩川、中島、今井、相浦

[福岡東地区]

1. 第 7 回福岡東地区研修会
日 時：平成 30 年 3 月 2 日（金）19：00～21：00
場 所：北九州古賀病院
内 容：「症例発表会」
司 会：花田 智子氏
阿部 隼太氏
参加者：27 名
出務者：山坂、畠山、石松、花田、阿部

[北九州支部]

1. 第 3 回北九州支部研修会
日 時：平成 30 年 2 月 18 日（日）9：00～16：00
場 所：製鉄記念八幡病院
テーマ：「一日で学ぶ！ 急性期から生活期における腰部疾患の理学療法
－解剖・運動学から考える理学療法評価・運動療法－」
講 師：東 裕一 氏（高木病院）
中元寺 聡 氏（福岡志恩病院）
廣滋 恵一 氏（九州栄養福祉大学リハビリテーション学部）
司 会：中村 雅隆 氏（田原整形外科医院）
出務者：山内、兵頭、井上、後藤、加納
参加者：164 名

[北九州 2 地区]

1. 第 6 回北九州 2 地区研修会
日 時：平成 30 年 2 月 15 日（木）18：30～21：30
場 所：製鉄記念八幡病院
テーマ：各病期における電気刺激療法、温熱療法の応用
講 師：森 聡 氏（飯塚市立病院）
司 会：立石 聡史 氏（産業医科大学若松病院）
出務者：曾我部、藤田、坂本、古賀、和田、緒方、岩松
参加者：167 名

2. 第7回北九州2地区研修会

日 時：平成30年3月8日（木）18：30～21：30

場 所：製鉄記念八幡病院

テーマ：小児理学療法の現在（いま）～急性期医療現場から地域療育支援まで～

講 師：林 秀俊 氏（JCHO九州病院）

近藤 直樹 氏（北九州市立総合療育センター）

司 会：星木 宏之 氏（JCHO九州病院）

出務者：村上、鳥山、曾我部、古賀、後藤

参加者：44名

[筑後支部]

1. 第5回筑後支部研修会

日 時：平成30年2月9日（金）19：00～20：30

場 所：久留米リハビリテーション学院

テーマ：症例報告会

座 長：立石 圭佑 氏（久留米リハビリテーション病院）

家守 秀彰 氏（甘木中央病院）

塚田 裕也 氏（久留米大学医療センター）

谷口 侑紀 氏（久留米大学医療センター）

木原 太史 氏（足達消化器科整形外科医院）

岡 真一郎 氏（国際医療福祉大学福岡保健医療学部）

本田 進 氏（米の山病院）

症例報告：

・中川 信宏 氏（八女リハビリ病院）

「左人工膝関節全置換術後、左膝窩部痛により歩行障害を呈した症例」

・牛島 理絵 氏（久留米リハビリテーション病院）

「運動療法と栄養療法の併用が効果的であった術後廃用症候群の一例」

・西村 政次郎 氏（久留米リハビリテーション病院）

「車いす応用操作練習と立位・歩行練習により、社会参加可能な移動能力を獲得した胸髄梗塞後不全麻痺の一症例」

・金子 哲也 氏（甘木中央病院）

「頸椎損傷患者の歩行時における立ち直り反応に着目して機能回復がみられた一症例」

・原 崇 氏（江本ニーアンドスポーツクリニック）

「左膝前十字靭帯再建術及び内外側半月板縫合術後、完全免荷時期に荷重し再手術した症例」

・市川 雄大 氏（嶋田病院）

「COPDを既往に持つ肺炎患者に対する外来リハビリテーション～身体活動性向上に着目して～」

・勝田 祥平 氏（嶋田病院）

「高齢者の開腹術後に対し急性期の疼痛コントロールの重要性」

- ・森 将志 氏（嶋田病院）
「高血圧性心筋障害・左室理モデリングにより急性心不全を呈した一症例」
- ・末次 智美 氏（嶋田病院）
「人工呼吸器離脱後にせん妄の遷延を呈した症例」
- ・河瀬 理奈 氏（嶋田病院）
「自宅退院支援で排泄が問題となった腰椎椎体破裂骨折の1症例」
- ・山本 健太郎 氏（朝倉医師会病院）
「頰椎症により歩行困難を呈した症例 ー能動的動作と強化学習ー」
- ・馬場 悠弥 氏（朝倉医師会病院）
「大腿骨転子部骨折術後の歩行獲得に向けてー重度認知症患者に対してのアプローチー」
- ・塚島 達章 氏（朝倉医師会病院）
「閉塞性動脈硬化症術後のリハビリ介入ー関節可動域獲得を目指した症例ー」
- ・谷 千明 氏（朝倉医師会病院）
「慢性呼吸器疾患を呈した頭頸部痛の強い症例 ー座位耐久性の向上を目指してー」
- ・笹原 優悟 氏（安本病院）
「左大腿骨転子部骨折術後の一症例 ー起立・移乗動作の向上を目指してー」
- ・橋本 成矢 氏（久留米大学病院）
「小脳症状と血圧変動により離床が難渋した左聴神経鞘腫瘍摘出術後の一例」
- ・補沓 拓郎 氏（久留米大学病院）
「足根洞症候群に対する理学療法 ー足関節背屈可動域制限に着目してー」
- ・赤池 真美 氏（久留米大学病院）
「胸椎脱臼骨折により対麻痺を呈した症例-基本動作・日常生活動作獲得を目指して」
- ・小野 尚輝 氏（済生会飯塚嘉徳病院）
「発症後5ヶ月経過した左内包後脚部脳梗塞後遺症の症例 ー地域包括ケア病棟の特色を活かしたアプローチー」
- ・下平 華世 氏（川崎病院）
「人工膝関節全置換術後に stiff-knee gait を呈した症例の toe clearance 獲得について」
- ・大隈 美咲 氏（川崎病院）
「左足関節外果骨折術後の足関節背屈制限により跛行を生じた症例ー歩行時の左立脚期に着目してー」
- ・中村 麻美 氏（川崎病院）
「肩甲骨・鎖骨骨折を呈した症例 ー骨折部の転位に留意した挙上の考察ー」
- ・井上 紗也香 氏（柳川リハビリテーション病院）
「左人工股関節置換術後の1症例について ー術側立脚期に着目してー」
- ・今村 信介 氏（川崎病院）
「左立方骨骨折を呈した症例 ーForefoot rocker 機能に着目してー」
- ・田中 祐輔 氏（柳川リハビリテーション病院）
「長期経過を辿った右片麻痺患者の異常筋緊張に対する介入の再検討」

- ・尾方 太亮 氏（柳川リハビリテーション病院）
「左人工膝関節置換術後に左膝窩痛が出現した症例」
- ・北原 一帆 氏（済生会飯塚嘉穂病院）
「繰り返し脳梗塞を発症している症例への介入ー運動療法により身体機能向上を目指した症例ー」
- ・目野 浩太郎 氏（高木病院）
「半側空間無視の症例に対する起立台を使用した視覚的フィードバックと頸部体幹の運動制御再構築についての運動学的考察」
- ・出口 史尚 氏（川崎病院）
「右変形性膝関節症に対し人工膝関節全置換術を施行した症例ー運動学習による膝関節可動域へのアプローチー」
- ・木村 倅晴 氏（川崎病院）
「右大腿骨頭壊死症を呈し人工股関節全置換術を施行した症例ー起立動作に着目してー」
- ・東 拓美 氏（川崎病院）
「左上腕骨近位端骨折を呈した症例ー下着着脱を目指した結帯動作の獲得に向けてー」
- ・田崎 秀一郎 氏（川崎病院）
「左レンズ核線条体動脈領域の脳梗塞後に BAD を呈した症例 ー歩行自立を目指してー」

症例発表者:32名

参加者:112名

出務者：福田、綾部、高嶋、堀江、安、川原、石橋、上瀧、木村、今村、高村、西、田中、中島、水野、松崎、高木、楠元、堤、吉弘、山田、小出、野田、松尾、中富、上野、伊藤、鈴木、深野

【公益事業2 理学療法の知識・技術の普及・啓発を行う事業】

I. 事業

[北九州支部]

1. 第2回北九州支部体力測定会（認知症交流会）

日 時：平成30年2月4日（日）10:30～13:30

場 所：北九州市総合保健福祉センター5F

内 容：体力測定会

長座位体前屈、膝伸展筋力、握力、開眼・閉眼片脚立位、立ち上がりテスト、2ステップテスト、フィードバック

利用所：15名

出務者：20名

2. 第3回北九州支部体力測定会

日 時：平成30年3月10日（土）10:00～13:30

場 所：穴生市民センター

内 容：体力測定会

立ち上がりテスト、2ステップテスト、フィードバック

利用所：71名

出務者：本田、山内、久保田、松山、仲本

[北九州2地区]

1. 北九州2地区体力測定会（戸畑区リハビリテーションフェア）

日時：平成30年3月11日（日）10：00～16：00

場所：ウエル戸畑

内容：体力測定会

握力、CS30、TUG、基本チェックリスト、フィードバック

体力測定会→フィードバックの流れ

利用所：133名

出務者：林、園田、伊藤、野中、笠

II. 関係会議

[福岡支部]

1. 新人オリエンテーション事前会議

日時：平成30年3月22日（木）18：30～19：30

場所：福岡和白リハビリテーション学院

内容：「新人オリエンテーションの事前打ち合わせについて」

参加者：3名

出務者：岡本、馬場、久保田

【その他事業 会員の福利厚生に関する事業】

I. 事業

[福岡1地区]

1. 福岡1地区レクリエーション

日時：平成30年2月9日（金）19：00～20：30

場所：博多スターレーン

内容：ボウリング

参加者：27名

【法人事業】

I. 事業

[福岡1地区]

1. 第1回 福岡1地区研修会

日時：平成30年2月9日（金）18：30～19：00

場所：麻生リハビリテーション大学校

テーマ：次年度上半期事業計画検討

出務者：齊藤、園田、池田、平山、増見、小田、山本、寒竹、倉住、有馬

参加者：10名

II. 関係会議

[支部局]

1. 第4回支部局会議

日 時：平成30年2月4日（日）11：30～12：00

場 所：福岡国際会議場

議 題：ホームページリニューアルに関する打ち合わせ及び次年度事業について

出務者：岩佐、山内、遠藤、福田、永野

[北九州1地区]

1. 第8回北九州1地区会議

日 時：平成30年2月27日（火）19：00～20：00

場 所：小倉リハビリテーション学院

議 題：平成29年度北九州1地区下半期事業報告及び平成30年度上半期事業確認

出務者：16名

[筑豊地区]

1. 第7回筑豊地区会議（全体会議）

日 時：平成30年2月21日（水）19：00～20：00

場 所：飯塚病院 リハビリテーション室

議 題：今年度地区事業の総括と来年度の地区事業について

出務者：20名

【確認事項】

【事務局】

学会長から茨城県学会に対して投稿に対して松崎局長へ依頼があった

【法人事業】

[総務部]

1. 平成30年度理事会スケジュールについて（別紙：37）

平成30年度理事会スケジュールを作成しました。別紙の予定で考えておりますので各部局の運営の参考に活用してください。

【支部局】

【公益事業1 理学療法士の知識及び技術の向上を図る事業】

第3回福岡1地区研修会（8月24日）ですが講師の広田美江氏が、大分へ転勤となった。地区研修会は、県内講師のみとなっていたが、講師依頼をしている状況なので変更せずに良いか確認したい。

【次回理事会】

日 時：平成 30 年 5 月 19 日 15：00～

会 場：麻生リハビリテーション大学校

以上この議事録の内容が正確であることを証明するため、出席した会長、副会長、事務局長ならびに監事は、次の通り署名する。

平成 30 年 4 月 28 日

公益社団法人 福岡県理学療法士会